

「かとう夢プラン」進行中！

教育の視点から、より良いまちを目指す「かとう夢プラン」。子どもたちを中心に、さらなる学びの充実をめざして事業を展開しています。



「かとう夢プラン」って？

加東市では、平成24年度までに学校の耐震化100%や教室への空調設備など、教育環境の整備を積極的に取り組んできました。今後は、環境の整備に加え、教育内容のさらなる充実も含めて推進していくため、今年度から特に重点的な事業を「かとう夢プラン」として位置づけ、豊かな学びからより良い自分づくり、地域づくりにつなげています。

給食で大好評！

「学校給食特別メニュー」

9月26日、市立幼稚園、小・中学校の給食で、加東市産の桃を使ったゼリー約3,500個を提供しました。こちらは「楽しみがあり、学びのきっかけとなる学校給食」を目的に、月に1度、特別なメニューを提供するというプランです。これまで、加東市産いちごや兵庫県産の和牛ステーキなどを提供してきました。

ゼリーの原材料である桃（白鳳）約200キログラムは、市内で農業を営む古跡真一さんが心を込めて作られたもの。ゼリーを食べた子どもたちからは、口々に「おいしい」と絶賛の声があがっていました。また、ゼリーのパッケージは公募の結果、井上光生さん（社幼稚園）、阿江和花奈さん（滝野東小）、藤井健二さん（滝野中）の作品を採用し、味に加えてかわいいパッケージも大好評を博しました。



藤井健二さん（滝野中3年）



阿江和花奈さん（滝野東小6年）



井上光生さん（社幼稚園5歳児）

ゼリーに使用した桃の生産者

古跡真一さんにお話を伺いました。



今回の桃納入は苦労されたのではないですか？

今年、やや不作だった状況の中、白鳳のみ200キログラムを納入しましたので大変でした。ただ、ゼリーが提供された後、近所の人から「どこで売っているの」「子どもがすごくおいしかったと言っていた」との反響があり、すごくうれしかったです。

いつものようなことを気にかけておられますか？

米・野菜は完全無農薬の有機栽培にこだわっており、果物もできるだけ低農薬で栽培するようにしています。おいしく、安全な作物を食べてもらうことが目標ですね。

これからも提供を継続されますか？

子どもたちや若い人など、特にこれからの世代の人に自然のままの作物を食べてもらいたいと考えていますので、給食への提供は続けていきたいです。

かとう夢プランについてどのようにお考えですか？

今回、給食という分野で協力できてよかったと思います。地元の食べ物、今の子どもたちや未来の世代のためになればと思っていますので、これからもこんな取り組みがあれば協力していきたいですね。

ほかにもたくさん、夢プラン！



「小中学校人権教育講演会」

いじめや虐待、インターネットを悪用した人権侵害等を防止し、夢と希望にあふれる人間となるよう、人権尊重の教育を進めます。



「加東スタディライフ」

夏休み、冬休みに、学校で自習室を開設し、自主的な学びの居場所づくりに取り組みます。また、教職員OBや兵教大生による学習指導も行います。



「体育館等の非構造部材の耐震化」

東日本大震災等、大規模な地震では、建物本体ではなく壁材、天井材や照明などの非構造部材の落下による被害が発生していることから、校舎、体育館や文化施設等で落下してくるものがないかを点検し、安全対策を実施します。



「学校トイレの洋式化」

生活様式の変化に沿って、学校トイレの洋式化率80%以上を目指します。

どんどん広がる、夢プラン！

かとう夢プランは、成長していく計画です。これからも、社会や時代の変化に合わせてプランを更新し、いろいろな課題の克服や目標を設定して、さらなる教育環境の整備、教育内容の充実を目指します。

加東市の全ての人に、より良い学びが届き、さらに「夢がきらめくまち」となるよう、夢プランを展開し続けます。

夢プランの問い合わせは教育委員会教育総務課（滝野庁舎） ☎48-3333まで

他にも、「加東市独自の日常英会話ライセンス制度の発足と、生徒全員のライセンス取得推進」「高齢者大学等、成年から高齢者まで全ての世代への学習環境の充実」など、様々なプランが進行中です。